



IGC

事務局ニュース

No. 4

第29回IGC事務局

Tel : 0298-54-3627
Fax : 0298-54-3629

First Circular の発行に向けて組織委員会開催

明けましておめでとうございます。いよいよ1990年にはいり、第29回IGCまで残り965日(1990年1月1日現在)となりました。今年もよろしくお願ひ致します。

昨年に発足しました準備体制もようやく軌道に乗りはじめ、最も大切な第一のステップであるファースト・サーキュラーの編集も順調に進められています。この内容は、1月23日に開かれる第4回組織委員会で検討されたあと印刷され、3月末には国内・外に発送される予定になっています。

科学プログラムの編成について

前回のニュース No.3でお知らせしました「科学プログラム」の編成について、最終原稿で一部変更がありました。まず、区分のうち、「学際シンポジウム」と「領域別シンポジウム」は、最終原稿では「シンポジウムⅠ」、「シンポジウムⅡ」と呼ばれています。内容は変わりありません。

なお、シンポジウムⅡは、以下の24の分野に区分されています。()内はテーマ数。

1. Stratigraphy (7), 2. Sedimentology and Sedimentary Petrology (8), 3. Paleontology(6), 4. Marine Geology (6), 5. Quaternary Geology (6), 6. Structural Geology and Tectonics (9) 7. Volcanology (7), 8. Igneous Petrology(7), 9. Metamorphic Petrology (5), 10. Geochemistry (3), 11. Geochronology (3), 12. Planetary Sciences (4), 13. Geophysics (3), 14. Mineralogy (6), 15. Clay Geosciences (3), 16. Mineral Resources (8), 17. Fossil Fuel Deposits (7), 18. Geothermal Studies(5), 19. Engineering Geology (6), 20. Environmental Geology and Hydrology (8), 21. Natural Hazards (6), 22. Geomathematics and Geoinformatics (6), 23. Remote Sensing (4), 24. Geological Education (3)

History of Geosciencesは、Lecture Seriesのカテゴリーで行われることになりました。

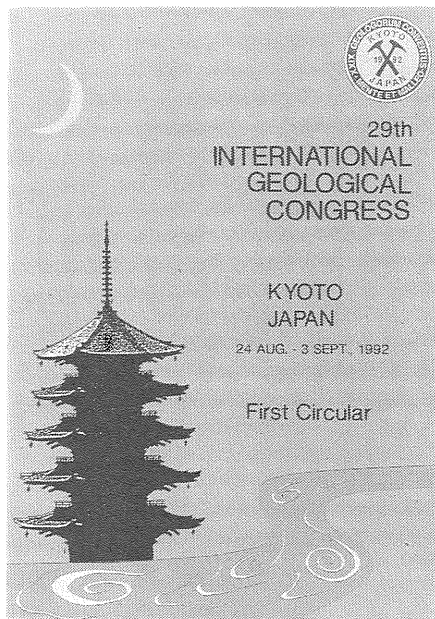


写真 ファースト・サーキュラーの表紙(案)

次に、「ポスターセッション」は、従来考えていた独立の区分はやめて、プログラム上では上記シンポジウムのⅠかⅡの中に含めることとしました。応募者に oral または poster の希望を書いてもらうことになります。ただし、科学プログラム委員会の判断で、どちらかに振り換えたり、場合によっては、希望したセッションやシンポジウムも変更することがあります。

応募論文は、従来のIGCにおけると同様に、科学プログラム委員会で審査致します。

地質巡検について

本巡検は、島弧の変遷とプレート境界域の地質現象を実地を見ることを目的に、国内72コースと、海外は韓国とフィリピンでそれぞれ1コースが提案されています。これらのコースは、サーキュラーのアンケートの結果によって変更されます。詳細は次号で。